

[10]演算子・固有関数・固有値

① 演算子とは？

\hat{H}, \hat{O}, \dots のように表され (^ はハットと呼ぶ)

演算子の右に書かれた関数に作用し

変化を与える。

② $\hat{H} = \frac{d^2}{dx^2}$ を $f(x) = x^2$ に作用させると

$$\frac{d^2}{dx^2}(x^2) = \frac{d}{dx}(2x) = \underline{2} \quad \text{答え}$$

③ $\hat{H} = \frac{\partial^2}{\partial x^2} + \frac{\partial^2}{\partial y^2}$ を $f(x, y) = 4x^3y^2 + 5x^2 + 1$ に作用

$$\begin{aligned} & \left(\frac{\partial^2}{\partial x^2} + \frac{\partial^2}{\partial y^2} \right) [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] \\ &= \frac{\partial^2}{\partial x^2} [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] + \frac{\partial^2}{\partial y^2} [4x^3y^2 + 5x^2 + 1] \\ &= \frac{\partial}{\partial x} [12x^2y^2 + 10x] + \frac{\partial^2}{\partial y^2} [8x^3y] \\ &= \underline{24xy^2 + 10 + 8x^3} \quad \text{答え} \end{aligned}$$

④ 固有関数・固有値とは？

ある演算子 \hat{H} に対して演算後、元の関数の定数倍となる関数 f と定数 a を固有関数・固有値という。

$$\hat{H} f = a f$$

固有関数 固有値

⑤ $\hat{H} = \frac{d^2}{dx^2}$ の固有関数 $f(x)$ の例を示せ。

2階微分しても元の関数の定数倍

$$f(x) = e^{ax}, \sin ax, \cos ax, e^{iax} \quad (a: \text{実数})$$

固有値: a^2 ,
正

$-a^2, -a^2, -a^2$
負
波の式で出てくるのは
負の固有値

⑥

$$\hat{H}_x f(x) = a_x f(x)$$

$$\hat{H}_y g(y) = a_y g(y)$$

を満たすとき、 $\hat{H}_x + \hat{H}_y$ を

$f(x)g(y)$ に作用させると、

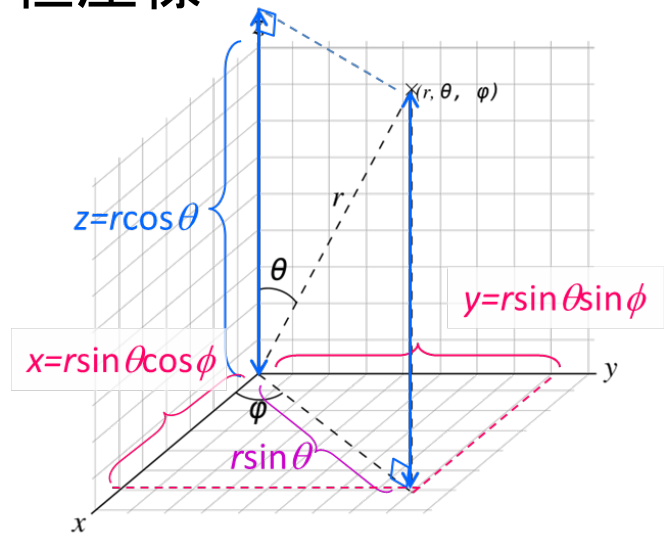
$$\begin{aligned} & (\hat{H}_x + \hat{H}_y) f(x)g(y) \\ &= \hat{H}_x f(x)g(y) + \hat{H}_y f(x)g(y) \end{aligned}$$

\hat{H}_x は $f(x)$ のみに、 \hat{H}_y は $g(y)$ のみに作用するので、第2項の \hat{H}_y は $f(x)$ を通過して $g(y)$ に演算するため

$$\begin{aligned} &= a_x f(x)g(y) + f(x)a_y g(y) \\ &= (a_x + a_y) f(x)g(y) \end{aligned}$$

したがって $f(x)g(y)$ は固有値が $a_x + a_y$ の固有関数になっていることが確かめられた。

[11] 極座標



(x,y,z)...直交座標 (r,theta,phi)...極座標

球のようなものに便利
例 地球 緯度... θ (シータ)
経度... ϕ (ファイ)

$$\begin{cases} z = r \cos \theta \\ x = r \sin \theta \cos \phi \\ y = r \sin \theta \sin \phi \end{cases}$$

各変数の範囲
 $r \geq 0$
 $0 \leq \theta \leq \pi$
 $0 \leq \phi < 2\pi$